

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成21年10月13日

【四半期会計期間】 第22期第1四半期(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)

【会社名】 株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

【英訳名】 Village Vanguard CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役 菊地 敬一

【本店の所在の場所】 愛知県愛知郡長久手町大字長湫字上鴨田12番地1

【電話番号】 0561-63-3031

【事務連絡者氏名】 管理本部長 吉岡 敏夫

【最寄りの連絡場所】 愛知県愛知郡長久手町大字長湫字上鴨田12番地1

【電話番号】 0561-63-3031

【事務連絡者氏名】 管理本部長 吉岡 敏夫

【縦覧に供する場所】 株式会社ジャスダック証券取引所
(東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次		第21期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第22期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第21期
会計期間		自 平成20年 6月 1日 至 平成20年 8月 31日	自 平成21年 6月 1日 至 平成21年 8月 31日	自 平成20年 6月 1日 至 平成21年 5月 31日
売上高	(千円)	7,343,336	8,630,599	33,226,159
経常利益	(千円)	753,730	814,033	3,171,002
四半期(当期)純利益	(千円)	414,048	462,203	1,701,838
純資産額	(千円)	11,157,519	12,853,658	12,445,310
総資産額	(千円)	19,812,115	24,731,709	24,079,503
1株当たり純資産額	(円)	290,046.79	334,138.99	323,523.71
1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)	10,763.45	12,015.28	44,240.37
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)	10,751.99		
自己資本比率	(%)	56.3	52.0	51.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	419,258	292,778	735,957
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	239,209	186,741	1,803,394
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	422,757	86,388	2,633,455
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	2,730,457	2,665,139	3,058,486
従業員数	(名)	264	300	280

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第21期及び第22期第1四半期連結累計(会計)期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年8月31日現在

従業員数(名)	300(2,032)
---------	------------

(注) 従業員数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含んでおります。）であり、臨時雇用者数（1日8時間換算）は、（ ）内に当第1四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成21年8月31日現在

従業員数(名)	256(1,902)
---------	------------

(注) 従業員数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含んでおります。）であり、臨時雇用者数（1日8時間換算）は、（ ）内に当第1四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 仕入実績

当第1四半期連結会計期間における仕入実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

区 分	金額(千円)	前年同四半期比(%)
SPICE	3,864,119	120.4
書 籍	1,060,945	126.3
ニューメディア	706,154	112.1
その他	223,147	380.2
書籍及びSPICE等の販売事業計	5,854,366	123.5
飲食店業計	55,093	159.2
合 計	5,909,459	123.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当社グループ(当社及び連結子会社)は受注販売を行っていないため、該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績は、次のとおりであります。

区 分	金額(千円)	前年同四半期比(%)
SPICE	6,193,511	121.2
書 籍	1,045,084	100.7
ニューメディア	844,061	104.2
その他	389,483	136.0
書籍及びSPICE等の販売事業計	8,472,140	117.0
飲食店業計	158,459	159.5
合 計	8,630,599	117.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業等のリスク】

当第1四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）経営成績の分析

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の悪化や設備投資の停滞、雇用不安による個人消費の減少等、依然として厳しい状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社では直営店11店を出店し、直営店1店・F C店1店を閉鎖しました。その結果、当第1四半期末の店舗数は、直営店293店、F C店28店の合計321店となりました。また、当社グループの当第1四半期末の店舗数は、直営店329店、F C店31店の合計360店となりました。

その結果、当第1四半期の売上高は8,630,599千円と前年同四半期と比べ1,287,263千円（17.5%）の増収となりました。利益面につきましても、営業利益は、799,608千円と前年同四半期と比べ68,100千円（9.3%）の増益、経常利益は814,033千円と前年同四半期と比べ60,303千円（8.0%）の増益、四半期純利益は462,203千円と前年同四半期と比べ48,155千円（11.6%）の増益となりました。

（2）財政状態の分析

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.0%増加し、20,290,850千円となりました。これは、商品及び製品が872,397千円、受取手形及び売掛金が116,827千円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.3%増加し、4,440,859千円となりました。これは、差入保証金が46,396千円、建物及び構築物が41,885千円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.7%増加し、24,731,709千円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7.0%増加し、8,053,106千円となりました。これは、買掛金が647,341千円、短期借入金が499,000千円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.9%減少し、3,824,945千円となりました。これは、長期借入金が249,379千円、長期未払金が40,845千円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.1%増加し、11,878,051千円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.3%増加し、12,853,658千円となりました。これは、四半期純利益が462,203千円となったことなどによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べて393,347千円減少し、2,665,139千円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用した資金は、292,778千円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が828,072千円、仕入債務の増加額が647,341千円あったものの、たな卸資産の増加額が872,397千円、法人税等の支払額が754,599千円あったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用された資金は、186,741千円となりました。

これは主に、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が104,177千円、差入保証金の支出が46,615千円あったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって得られた資金は、86,388千円となりました。

これは主に、配当金の支払いが53,889千円、長期借入金の返済が359,486千円あったものの、短期借入金の純増加額が499,000千円あったためであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第1四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	99,328
計	99,328

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成21年10月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	38,468	同左	ジャスダック 証券取引所	当社は単元株制度を 採用しておりません。
計	38,468	同左		

(2) 【新株予約権等の状況】

旧商法第280条ノ20及び第280条ノ21の規定に基づき発行した新株予約権は次のとおりであります。

株主総会の特別決議日（平成16年8月30日）	
	第1四半期会計期間末現在 (平成21年8月31日)
新株予約権の数	112個
新株予約権のうち自己新株予約権の数	
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	224株
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり 450,000円
新株予約権の行使期間	平成18年9月1日から 平成23年8月31日まで
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額	発行価格 450,000円 資本組入額 225,000円
新株予約権の行使の条件	新株予約権の割当てを受けた者は、権利行使時において、当社の取締役、監査役及び従業員であることを要する。ただし、当社の取締役、監査役及び従業員たる地位を失った後も、任期満了等の正当な理由による退任、定年又は関係会社への移籍の場合に限り、新株予約権を行使できるものとする。 新株予約権者の相続人による新株予約権の行使は認めない。 その他の権利行使の条件は取締役会決議に基づき、当社と新株予約権者との間で締結する契約による。
新株予約権の譲渡に関する事項	新株予約権を譲渡するときは、取締役会の承認を要するものとする。 前号以外の新株予約権の譲渡その他の処分に関する制限は、当社と個別の新株予約権の割当てを受けた者との間で締結する新株予約権の割当てに関する契約において規定する。
代用払込みに関する事項	
組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項	

(注) 1 新株予約権1個につき目的となる株式数は、普通株式2株であります。

2 当社が株式分割又は株式併合を行う場合は、次の算式により払込価額を調整し、調整の結果生じる1円未満の端数は切り上げるものとする。

$$\text{調整後払込価額} = \text{調整前払込価額} \times \frac{1}{\text{分割・併合の比率}}$$

また、当社が時価を下回る価額で、新株を発行する場合又は自己株式を処分する場合は、次の算出により払込価額を調整し、調整の結果生じる1円未満の端数は切り上げるものとする。

$$\text{調整後払込価額} = \text{調整前払込価額} \times \frac{\text{既発行株式数} + \frac{\text{新規発行株式数} \times 1 \text{株当たり払込価額}}{1 \text{株当たりの時価}}}{\text{既発行株式数} + \text{新規発行株式数}}$$

上記のほか、新株予約権発行日後に、当社が他社と合併する場合、会社分割を行う場合、資本減少を行う場合、その他これらの場合に準じ、発行価格の調整を必要とする場合には、必要かつ合理的な範囲で、発行価格は適切に調整されるものとする。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成21年8月31日		38,468		2,242,489		2,219,406

(5) 【大株主の状況】

当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(注) 1. 当第1四半期会計期間において、A I Gインベストメンツ株式会社から、平成21年8月5日付で大量報告書に関する変更報告書の提出があり、平成21年7月31日現在で下記のとおり株式等を保有する旨の報告をうけておりますが、当社として当第1四半期会計期間末の実質所有株式数の確認ができておりません。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
A I Gインベストメンツ株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目1番3号	2,890	7.51

2. 当第1四半期会計期間において、スパークス・アセット・マネジメント株式会社から、平成21年7月6日付で大量報告書に関する変更報告書の提出があり、平成21年6月30日現在で下記のとおり株式等を保有する旨の報告をうけておりますが、当社として当第1四半期会計期間末の実質所有株式数の確認ができておりません。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	東京都品川区大崎一丁目11番2号	3,456	8.98

3. 当第1四半期会計期間において、シオズミアセットマネジメント株式会社から、平成21年6月17日付で大量報告書に関する変更報告書の提出があり、平成21年6月15日現在で下記のとおり株式等を保有する旨の報告をうけておりますが、当社として当第1四半期会計期間末の実質所有株式数の確認ができておりません。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
シオズミアセットマネジメント株式会社	東京都港区西新橋3丁目13番7号	2,090	5.43

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成21年5月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成21年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 38,468	38,466	
単元未満株式			
発行済株式総数	38,468		
総株主の議決権		38,466	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が2株含まれております。なお、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権数2個が含まれておりません。

【自己株式等】

平成21年5月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
計					

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 6月	7月	8月
最高(円)	273,900	421,000	394,000
最低(円)	227,000	249,000	336,000

(注) 株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期連結累計期間(平成20年6月1日から平成20年8月31日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第1四半期連結会計期間(平成21年6月1日から平成21年8月31日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成21年6月1日から平成21年8月31日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結累計期間(平成20年6月1日から平成20年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、また、当第1四半期連結会計期間(平成21年6月1日から平成21年8月31日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成21年6月1日から平成21年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,685,139	3,078,486
受取手形及び売掛金	1,905,824	1,788,996
商品及び製品	15,003,729	14,131,331
その他	703,674	726,730
貸倒引当金	7,516	29,610
流動資産合計	20,290,850	19,695,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,403,129	1,361,244
工具、器具及び備品(純額)	700,308	694,603
その他(純額)	131,746	141,965
有形固定資産合計	2,235,184	2,197,813
無形固定資産		
のれん	149,442	163,028
その他	32,607	30,462
無形固定資産合計	182,050	193,490
投資その他の資産		
差入保証金	1,447,957	1,401,560
その他	597,777	608,000
貸倒引当金	22,110	17,295
投資その他の資産合計	2,023,624	1,992,265
固定資産合計	4,440,859	4,383,570
資産合計	24,731,709	24,079,503

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,519,693	3,872,351
短期借入金	867,000	368,000
1年内返済予定の長期借入金	1,200,820	1,260,927
未払金	562,091	639,766
未払費用	362,517	507,011
未払法人税等	373,465	777,930
賞与引当金	86,535	9,545
その他	80,982	90,038
流動負債合計	8,053,106	7,525,570
固定負債		
長期借入金	2,987,081	3,236,460
長期未払金	548,848	589,693
退職給付引当金	46,541	42,534
役員退職慰労引当金	169,473	166,935
その他	73,000	73,000
固定負債合計	3,824,945	4,108,623
負債合計	11,878,051	11,634,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,242,489	2,242,489
資本剰余金	2,219,406	2,219,406
利益剰余金	8,391,763	7,983,414
株主資本合計	12,853,658	12,445,310
純資産合計	12,853,658	12,445,310
負債純資産合計	24,731,709	24,079,503

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
売上高	7,343,336	8,630,599
売上原価	4,340,835	5,031,158
売上総利益	3,002,501	3,599,441
販売費及び一般管理費	₁ 2,270,993	₁ 2,799,832
営業利益	731,507	799,608
営業外収益		
仕入割引	17,966	22,289
業務受託料	9,084	10,542
その他	11,801	9,826
営業外収益合計	38,852	42,658
営業外費用		
支払利息	15,552	23,181
その他	1,077	5,051
営業外費用合計	16,630	28,233
経常利益	753,730	814,033
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	17,279
移転補償金	-	9,300
特別利益合計	-	26,579
特別損失		
固定資産除却損	7,226	7,439
減損損失	6,922	5,101
特別損失合計	14,149	12,540
税金等調整前四半期純利益	739,581	828,072
法人税等	₂ 325,533	₂ 365,869
四半期純利益	414,048	462,203

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	739,581	828,072
減価償却費	69,537	102,262
減損損失	6,922	5,101
のれん償却額	13,585	13,585
売上債権の増減額（は増加）	348,745	101,520
たな卸資産の増減額（は増加）	412,681	872,397
仕入債務の増減額（は減少）	451,002	647,341
その他	69,675	135,518
小計	449,525	486,927
利息及び配当金の受取額	3,539	677
利息の支払額	14,827	25,784
法人税等の支払額	857,496	754,599
営業活動によるキャッシュ・フロー	419,258	292,778
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	127,032	104,177
無形固定資産の取得による支出	1,920	5,165
差入保証金の差入による支出	81,868	46,615
その他	28,388	30,784
投資活動によるキャッシュ・フロー	239,209	186,741
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	641,100	499,000
長期借入れによる収入	-	50,000
長期借入金の返済による支出	139,234	359,486
長期未払金の増減額（は減少）	25,205	49,236
配当金の支払額	53,902	53,889
財務活動によるキャッシュ・フロー	422,757	86,388
現金及び現金同等物に係る換算差額	799	215
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	234,910	393,347
現金及び現金同等物の期首残高	2,965,367	3,058,486
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,730,457	2,665,139

【簡便な会計処理】

	当第1四半期連結会計期間 (自平成21年6月1日至平成21年8月31日)
1 棚卸資産の評価方法	当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。
2 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産に関しては、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
3 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められる場合は、前連結会計年度において使用した将来の業績予測などを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

	当第1四半期連結会計期間 (自平成21年6月1日至平成21年8月31日)
1 税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末 (平成21年5月31日)
有形固定資産の減価償却累計額 2,241,029千円	有形固定資産の減価償却累計額 2,143,375千円

(四半期連結損益計算書関係)

第1四半期連結累計期間

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)																																												
<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目と金額は次のとおりであります。</p> <table> <tr><td>役員報酬</td><td>33,629千円</td></tr> <tr><td>給与・手当</td><td>788,224千円</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td>76,303千円</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td>5,101千円</td></tr> <tr><td>役員退職慰労引当金繰入額</td><td>3,229千円</td></tr> <tr><td>水道光熱費</td><td>86,546千円</td></tr> <tr><td>消耗品費</td><td>128,451千円</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td>69,537千円</td></tr> <tr><td>のれん償却額</td><td>13,585千円</td></tr> <tr><td>賃借料</td><td>632,313千円</td></tr> <tr><td>支払手数料</td><td>49,057千円</td></tr> </table> <p>2 税金費用については、簡便法による税効果会計を適用しているため、法人税等調整額は「法人税等」に含めて表示しております。</p>	役員報酬	33,629千円	給与・手当	788,224千円	賞与引当金繰入額	76,303千円	退職給付費用	5,101千円	役員退職慰労引当金繰入額	3,229千円	水道光熱費	86,546千円	消耗品費	128,451千円	減価償却費	69,537千円	のれん償却額	13,585千円	賃借料	632,313千円	支払手数料	49,057千円	<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目と金額は次のとおりであります。</p> <table> <tr><td>役員報酬</td><td>25,245千円</td></tr> <tr><td>給与・手当</td><td>1,010,402千円</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td>82,590千円</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td>7,137千円</td></tr> <tr><td>役員退職慰労引当金繰入額</td><td>2,537千円</td></tr> <tr><td>水道光熱費</td><td>115,132千円</td></tr> <tr><td>消耗品費</td><td>116,390千円</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td>102,262千円</td></tr> <tr><td>のれん償却額</td><td>13,585千円</td></tr> <tr><td>賃借料</td><td>758,792千円</td></tr> <tr><td>支払手数料</td><td>108,074千円</td></tr> </table> <p>2 同左</p>	役員報酬	25,245千円	給与・手当	1,010,402千円	賞与引当金繰入額	82,590千円	退職給付費用	7,137千円	役員退職慰労引当金繰入額	2,537千円	水道光熱費	115,132千円	消耗品費	116,390千円	減価償却費	102,262千円	のれん償却額	13,585千円	賃借料	758,792千円	支払手数料	108,074千円
役員報酬	33,629千円																																												
給与・手当	788,224千円																																												
賞与引当金繰入額	76,303千円																																												
退職給付費用	5,101千円																																												
役員退職慰労引当金繰入額	3,229千円																																												
水道光熱費	86,546千円																																												
消耗品費	128,451千円																																												
減価償却費	69,537千円																																												
のれん償却額	13,585千円																																												
賃借料	632,313千円																																												
支払手数料	49,057千円																																												
役員報酬	25,245千円																																												
給与・手当	1,010,402千円																																												
賞与引当金繰入額	82,590千円																																												
退職給付費用	7,137千円																																												
役員退職慰労引当金繰入額	2,537千円																																												
水道光熱費	115,132千円																																												
消耗品費	116,390千円																																												
減価償却費	102,262千円																																												
のれん償却額	13,585千円																																												
賃借料	758,792千円																																												
支払手数料	108,074千円																																												

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年8月31日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年8月31日現在)
現金及び預金勘定 2,750,457千円	現金及び預金勘定 2,685,139千円
預入期間が3か月超の定期預金 20,000千円	預入期間が3か月超の定期預金 20,000千円
現金及び現金同等物 2,730,457千円	現金及び現金同等物 2,665,139千円

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年8月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	38,468

2 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年8月27日 定時株主総会	普通株式	53,855	1,400	平成21年5月31日	平成21年8月28日	利益剰余金

(2)基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、
配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年6月1日至平成20年8月31日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める書籍及びSPICE等の販売事業の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める書籍及びSPICE等の販売事業の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年6月1日至平成20年8月31日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年6月1日至平成20年8月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末 (平成21年5月31日)
334,138.99円	323,523.71円

2 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

第1四半期連結累計期間

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
1株当たり四半期純利益 10,763.45円	1株当たり四半期純利益 12,015.28円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 10,751.99円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

(注)1. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益	414,048千円	462,203千円
普通株式に係る四半期純利益	414,048千円	462,203千円
普通株主に帰属しない金額		
普通株式の期中平均株式数	38,468株	38,468株
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に用いられた普通株式増加数	41株	
普通株式増加数	41株	
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含まれなかった潜在株式について前連結会計年度末から重要な変動がある場合の概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年10月14日

株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 岡野 英生 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐久間 清光 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 奥谷 浩之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーションの平成20年6月1日から平成21年5月31日までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間（平成20年6月1日から平成20年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション及び連結子会社の平成20年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年10月13日

株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 岡野 英生 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐久間 清光 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 奥谷 浩之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーションの平成21年6月1日から平成22年5月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成21年6月1日から平成21年8月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成21年6月1日から平成21年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション及び連結子会社の平成21年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。